

令和5年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	4	学校名(課程)	下高井農林高等学校(全日制)
------	---	---------	----------------

1 全体目標

一人一人の生徒が将来の自分の生き方を考え、さらに生きがいを持って社会生活を送ることができるよう、各自の進路実現のための支援を行う。

2 現状・課題

○「基本的な生活習慣」が確立できておらず、「基礎学力」に加え、「仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力」が不足している。これらの力をどの様に身につけさせるかが課題である。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。

学校で言い換えた力でもよい。

- a 農家・企業等の研修を通じ、多様な他者と場に応じた適切なコミュニケーション能力
- b 自己の職業的能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする力
- c 将来設計・進路希望の実現をめざして課題を設定し、その解決に取り組む力
- d 多様な職業観・勤労観を理解し、職業・勤労に対する理解・認識を深める力

4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 1学年…自己理解と基礎学力の養成 ○高校生としてふさわしい基本的な学習生活習慣を身につける。〈②〉 ○自己理解と職業全般の理解につとめ、適切な学科選択を行う。〈①, ③〉 ○基礎学力の定着につとめ、各種検定の合格を目指す。〈②〉
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	イ 2学年…情報収集と進路探索 ○自己理解および職業理解をより一層深め、適切なコース選択を行う。〈①, ③〉 ○自らの進路について主体的に考えるとともに、幅広い進路選択が可能となるよう、基礎学力の充実につとめる。各種検定についてはより上級の合格を目指す。〈②〉 ○「インターンシップ」等の就業体験を通じ、「仕事」についての認識を新たにす。〈③〉 ○進学相談会や学校見学などに積極的に参加し、自らの力で進路実現への道を開拓する。〈④〉
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	ウ 3学年…学力・能力の向上と進路実現 ○デュアルシステムを通じ、地域の農林業や産業を理解し、「働くこと」の意義を学ぶ。〈④〉 ○社会で通用するマナーを身につける。〈②〉 ○希望進路実現のために必要な学力・能力を身につけるとともに、模擬試験(大学・看護・公務員)等を通じて自分の実力を知り、自ら課題を設定し取り組む。〈④〉 ○自分の希望進路を見据えて、各種検定・資格取得に力を注ぐ。〈②〉 ○進学相談会や学校見学、事業所訪問に積極的に参加し、自らの力で進路実現への道を開拓する。〈④〉
④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・授業のICT化を進め、「魅力ある授業」により、興味・関心を高め、基礎学力の定着を図る。〈1,2,3 年〉 ・学校設定科目「北信州学」により、地域の環境や文化、産業について実践的に学び、地域への理解を深める。 ・義務教育段階の基礎的な内容を学び直す学校設定科目「カルチベーション」により、基礎学力の定着を図る。〈2 年〉 ・農業実習において、SST(ソーシャルスキルトレーニング)の観点からの授業展開によって、コミュニケーション能力や人間関係づくりの基礎を養う。〈1,2,3 年〉

総合的な探究の時間	・「課題研究」で代替(3年) ・農業、林業などに関係する課題を設定し、その解決を図る学習を通じて、専門的な知識と技能の深化、総合化を図り、問題解決能力と創造的な学習態度を育てる。 ・課題研究発表会において成果を発表することにより、プレゼンテーション能力の向上を図る。
特別活動	・生徒の自己理解を深めるための生活意見文、進路講話等(1,2,3年) ・生徒の勤労観・職業観を培うための就業体験、先進農家体験(1,2,3年)
校外の体験活動 (就業体験活動等)	・先進農家研修、企業研修、ボランティア研修(1年) ・就業体験研修(全員) ・先進農家体験、体験入学、ボランティア(希望者)(1,2,3年)
地域や産業界等との連携	・先進農家研修、企業研修、ボランティア研修(1年) ・就業体験研修(全員) ・先進農家体験、体験入学、ボランティア(希望者)(1,2,3年)
評価	・アンケート(生徒、教員) ・県教育委員会が実施する「生徒意識調査」の活用
中学校との連携 (指導の継続性)	・小中学校との合同職員会(年2回)における情報交換 ・中学校と「総合的な学習」で連携し、地域の抱える課題解決に取り組む ・学校説明会、中学校訪問で本校のキャリア教育を説明
校内の推進体制	・進路学習キャリア教育係(6名、うち3名は各学年より選出)が各学年と連携し、キャリア教育を推進 ・全教職員で推進。特に、キャリアウィークにおいては学年・進路学習キャリア係を中心に計画・運営にあたる。
キャリア・パスポートの取組	・就業体験(キャリア研修・デュアルシステム)を通して他者や社会との関わりを学び、働くことに関して学ぶ ・「課題研究」を通して、地域の課題を探りながら課題解決の力を身につける。

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目 標	○農林業の基礎・基本を身につける。また、次年度に向けた適切なコース選択を行う。 ○学習活動および他者との交流を通じ、自己理解を深める。 ○基礎学力・コミュニケーション能力を身につけることにより進路選択の幅を広げる。	○各コースにおける専門的な知識・技能を習得する。 ○体験活動に積極的に参加することを通じ、自己の適性理解につとめる。 ○様々な情報を収集し活用することを通じ、将来設計につながる進路探索に取り組む。	○各コースにおける専門性の応用・活用をはかる。また、資格取得等の職業技術能力の習得につとめる。 ○自己の能力・適性を的確に判断し、進路についての具体的な目標を決定する。 ○自ら課題を設定し、解決する過程していくことを通じ、希望する進路実現を目指す。
主 な 取 組	○地域学習科目「北信州学」 ○校内意見発表会 ○就業体験・先進農家体験 ○キャリアウィーク	○学び直し科目「カルチベーション」 ○校内意見発表会 ○キャリアウィーク ○就業体験・先進農家体験 ○活動実績発表会 ○管内企業説明会	○課題研究 ○校内意見発表会 ○面接ガイダンス・就職ガイダンス ○放課後学習会 ○企業見学会(ハローワーク主催) ○職場見学・先進農家体験 ○活動実績発表会 ○キャリアウィーク
評 価	・生徒意識調査(県教委) ・アンケート(生徒、教員)	・生徒意識調査(県教委) ・アンケート(生徒、教員)	・生徒意識調査(県教委) ・アンケート(生徒、教員)

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動 等	その他（面接・評価等）
1 年	4 各教科オリエンテーション 「北信州学」 意見文指導		高校生活オリエンテーション 校内意見発表会 進路講話・キャリアウィーク・活動実践発表会 就業体験事前指導	学校生活アンケート 面接
	7			三者懇談会
	夏 休 9		就業体験(希望者) 先進農家体験(希望者)	
	12		就業体験事後指導 キャリアウィーク・活動実績発表会 農業魅力発見セミナー 進路講話 2年次コース選択	学校生活アンケート
	1 3	課題研究発表会	進路説明会	生徒意識調査(県教委) 生徒アンケート 教員アンケート
	春 休		体験入学(希望者)	年間評価、次年度の計画
2 年	4 各教科オリエンテーション 意見文指導	「総合実習」で代替	校内意見発表会 卒業生による職業講話 進路講話・キャリアウィーク 就業体験事前指導	学校生活アンケート 面接
	7			三者懇談会
	夏 休 9		就業体験(全員) 先進農家体験(希望者) 体験入学(希望者)	
	12		就業体験事後指導 キャリアウィーク・活動実績発表会 農業魅力発見セミナー 進路講話 科目選択	学校生活アンケート 面接
	1 3	課題研究発表会	進路説明会	生徒意識調査(県教委) 生徒アンケート 教員アンケート
	春 休		体験入学(希望者)	年間評価、次年度の計画
3 年	4 各教科オリエンテーション 意見文指導	「課題研究」で代替	進路講話 個別進路面談 校内意見発表会・キャリアウィーク 企業見学会(ハローワーク主催) 面接ガイダンス 就職ガイダンス 職場見学事前指導	学校生活アンケート 面接
	7			三者懇談会
	夏 休 9		職場見学(希望者) 先進農家体験(希望者) 体験入学(希望者)	
	12		面接練習 キャリアウィーク・活動実績発表会	学校生活アンケート 生徒意識調査(県教委)
	1 3	課題研究発表会	ワーキング・セミナー 消費者講座	生徒アンケート 教員アンケート 進路状況まとめ 3年間の評価